

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	音楽Ⅱ	2	2年 地域探究コース（選択）

1 使用教材

使用教科書	MOUS A 2
出版社	教育芸術社
副教材等	—
出版社	—

2 学習の目標

1	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
3	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業中の活動への積極的な参加・教師の発問に対する応答・授業への出席状況
個別課題の達成状況	A	A	B	課題へ取り組む姿勢や達成度
グループ活動	B	A	A	グループ活動への積極的な参加
作品の完成度	A	A	C	作品の完成度

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	ヴォイストレーニング ポップスを歌おう 日本の歌 器楽探究Ⅰ 創作	・曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 ・曲想と歌詞との関わりなどを理解し、個性豊かに歌う。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、表現を工夫して個性豊かに独唱する。 ・奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かな演奏をする。 ・創作表現に必要な技能を身に付け、個性豊かな音楽作品をつくり出す面白さを体験する。
2 学期	郷土の芸能、日本の伝統芸能 鑑賞 ヴォイスアンサンブル 器楽探究Ⅱ 世界の諸民族の音楽	・それぞれの特徴に対する理解を深めるとともに、その魅力を味わう。 ・西洋音楽を鑑賞する。 ・各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら表現を工夫して、ヴォイスアンサンブルをする喜びを味わう。 ・奏法を身につけ、音色や表現を工夫して個性豊かな演奏をする。 ・身振りを伴う表現に着目して鑑賞したり、演奏したりしながら、その音楽や表現の特徴を理解する。
3 学期	映画を彩る音楽 ミュージカル、オペラアリア 課題探究	・音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら鑑賞し、映画音楽の魅力を味わう。 ・物語のあらすじや、歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う。 ・音色や表現を工夫して、個性豊かに演奏する。